

The 2 Chome Times 平成29年9月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO232.

2 0 1 7 ・ 9 ・ 2 5

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591) 2丁目タイムス9月号

編集:企画・商業振興部、編集長:芹澤邦明 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com

フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>

2丁目でもKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★フロインドリーブでのオクトーバフェスト (ビール祭り)

センター街2丁目の理事のほぼ全員が参加してサンセンタープラザの安廣社長、三宮地下街(サンチカ)



からは佐藤社長なども交えて、9月1日にフロインドリーブ本店で開催されているオクトーバフェストの会場で近隣組織との懇親会を開きました。中谷美紀さん主演の映画にも使われたことのあるシックでゴージャスな建物です。ビールやその他各種飲み物に加えて、日頃プチ贅沢で時々頂く他所では味わえないサンドイッチなど豪華なビュッフェ形式での食事に皆さんも自然と盛り上がっていました。

いつか本場ドイツのオクトーバフェストへも行ってみたいですね。ドイツ通の理事長、いかがですか。

★早くも秋のワクチンのお話です!

先日東京の知人から連絡があり、なんとこの猛暑の中、インフルエンザB型にかかり、一週間の出勤禁止になったそうです。既にご存じの様にインフルエンザは単なる風邪と違い、ひとつ間違えれば生死の問題にもなりかねません。我が2丁目では例年スタッフの皆様が安心して働けるようにとインフルエンザワクチンの予防接種を各店舗3名まで無料で2002年から実施しています。毎年ご担当いただいているさんプラザ3階の竹村クリニック院長の竹村先生にお話を伺って来ました。「今年のインフルエンザの特徴は約10年前に新型インフルエンザとして世界的に流行したH1N1型ウイルス(A型)に近年変異が見られることが判明したため、ワクチンに改良が加えられることになりました。このためワクチンの有効性がより増すことが期待されております。接種開始は10月中旬頃を予定しておりますので、早めの接種をお勧めします」とのことです。安心安全で美しい街を維持するためにはお店のスタッフが明るく健康であることが一番です。早めの接種を考えてみませんか!?

竹村クリニック 場所:さんプラザ3階 [TEL:391-3131](tel:391-3131)

診療時間:月曜から金曜日まで午前9:30分~12:30分 午後1時30分~4時30分 木曜日は午後休診 受付時間はそれぞれ30分前です

土曜 日曜 祝日は休診です。

★熱く燃えるタイガースの試合を観て来ました!

日頃から街づくり協議会が阪神電鉄さんと交流を深めていますが、先日街づくり協議会の事務局スタッフを慰労するため阪神甲子園球場のスイートルームにご招待を受けました。法人の年間契約しか利用できない部屋で12.3人がゆったり座れ、バルコニー席からは球場の迫力が感じられ堪能致しました。街の基本方針である「どんな組織の方とも仲良く」の気持ち相手が相手の方にも伝わっていると実感しました。ち



なみに久利理事長と阪神球たそうです。今後とも宜しくメイクドラマだ!



団オーナーの坂井様とは小学校のクラスメイトだっ
お願いしたいものですね。がんばれ阪神タイガース、

★介護リフレッシュ教室の御案内 今日から使える「マインドフルネス」

三宮あんしんすこやかセンターでは「介護リフレッシュ教室」を開催します。これはご自宅で高齢者を介護されている御家族の皆様を対象にしたもので、今回のテーマは「マインドフルネス～ストレス軽減～」です。生活にありふれる、ストレスやイライラの感じ方を脳から変えていくというものです。マインドフルネスを取り入れることで、幸せは何倍にも感じられるとか。凄いですね！また日頃の介護の悩み等を話し合い、リフレッシュして頂ける機会になるため、皆様の御参加をお待ちしておりますとのことです。



あんしんすこやかセンター

日時： 平成 29 年 10 月 13 日（金） 14:00～16:00

場所： センタープラザ西館 16 号室

※集合は三宮あんしんすこやかセンターです。（中央区三宮町 1-8-1 サンプラザ 3F）

対象： 当センター担当地区にお住まいの高齢者を介護しておられるご家族

※参加を希望される型は下記までご連絡下さい。

お申込み・お問い合わせ先

三宮あんしんすこやかセンター 電話：078-321-0400 Fax:078-326-2668

ホームページ

<http://www.meirinfukushi.or.jp/po-ai/service/service07/>

★開国への潮流 開港前夜の兵庫と神戸 神戸市立博物館

9 月 24 日まで神戸市立博物館で行われていた上記のタイトルの展示会に行ってきました。今年で神戸開



港 150 周年になるのは皆様もよく耳にしておられるとは思いますが、詳しいことはあまり知られていません。この展示会ではプロローグの「Far East に到達した欧米世界」から始まり、エピソード I 「19 世紀の国際環境と対外認識」、そしてエピソード V 「港の近代化」を経て、エピローグの「神戸開港へ」へと紹介されており、本当に興味深い内容で一杯でした。「開国、開港」と言えばアメリカ東インド艦隊司令官のペリーが有名ですが、時を同じくして各国、とりわけロシア使節ブチャーチンが 1853 年（嘉永 6 年）に軍艦 4 隻にて長崎に来航し、幕府に国書受理を要求して、最終的にはアメリカと同様に日露修好通商条約が締結されたことや、その同じ年の 1858 年（安政 5 年）に兵庫が開港場に選定されたことなど、不勉強の私にと



っては驚きばかりでした。その他、NHK の朝ドラで一躍有名になった外国官権判事・大阪府権判事の伍代友厚が外国官副知事、小松清廉（帯刀）に宛てた手紙の中で開港から 10 カ月が経過した神戸を「いよいよ活況を呈してきた」と評しており、これもまた大変興味を引かれました。もう展示会そのものは終了してしまいましたが、機会があれば開港に関する資料などを検索されてみては

如何ですか。

（14 代将軍家茂 天保山入港の図）

★編集後記



今年が開港 150 周年ということで多くの行事や記念式典などもありました。それにちなんで神戸市の市章がこの港をモチーフにしてデザインされたものであるという事を最近になって知り、日頃全く気にしていなかった事実に感心しました。神戸市のホームページの市章に関する記述からは「神戸の港は、もともと“扇港”とも呼ばれていました。また、“兵庫”と“神戸”の二つの港が扇を並べたような形をしているという理由で、神戸の旧かな遣いである「カウベ」の力の字を図案化したもの

です。1907 年（明治 40 年）5 月に制定」とあります。神戸市立博物館の展示でも歴史と深く関わった神戸港の発展に感銘を受けましたが、神戸港がこれからもますます発展して、そして我々街衆も努力して神戸市の活性化に繋がればいいですね。